

臨床研究に関する情報公開

洪川医療センターでは、下記の臨床研究の情報を公開しております。

研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、研究への情報利用についてご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、各研究の研究責任者または、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] パーキンソン病患者の手術前後の QOL 評価 ～当院における安全ラウンド・症例検討会の介入をふまえて～

[研究責任者] 看護師 田島 直己

[研究の背景] 現在、私たちの部署では脳深部刺激療法を行うパーキンソン病患者に対して、安全ラウンド、症例検討会を実施しています。安全ラウンドでは患者の体の動きに合わせた室内レイアウトや環境調整、患者の症状に合わせた統一した介助をおこない、安全確保に努めています。症例検討会では退院支援が必要な患者に対して、他の医療者と連携を図り、リハビリ内容の共有や退院先の検討を行っています。その中で「当院における取組みが患者の生活の質の向上につながっているのか」と疑問に感じました。そこで、日常生活動作表を活用し、日常生活度を評価することで当院での安全ラウンド、症例検討会の取組みが患者の生活の質の向上につながっているのかを研究で明らかにしたいと考えました。

[研究の目的] 機械を留置した患者に手術前、手術後に質問用紙を用いて調査を行うことで、良かった点や改善すべき点をあきらかにすることで、さらなる日常生活の質の向上へ活かしたいと考えたため。

[研究の方法]

- 対象となる患者: 当院において脳深部刺激療法を受ける患者
- 研究期間: 倫理審査許可日～2027 年 2 月 28 日
- 情報の管理: 研究等の実施に係わる文書を5東病棟の鍵のかかるロッカーに保管します。保管期間は、当該研究の結果の最終の公表について報告された日までの期間とします。保管期間終了後は、紙媒体に関してはシュレッダーで裁断し廃棄します。他の媒体も適切な方法で廃棄します。

[研究組織] 独立行政法人国立病院機構 洪川医療センター

[個人情報の取扱い] この研究で得られた結果は、あなたの個人情報(名前・年齢・性別等)に係わる情報を切り離した上で論文等にまとめられ、学会や医学雑誌などに発表されることもあります。ただし、いずれの場合にも、あなたの個人情報が公開されることは一切ありません。

[利益相反] なし

【問合せ・苦情等の相談窓口(連絡先)】

独立行政法人国立病院機構渋川医療センター
〒377-0280

群馬県渋川市白井383

電話 0279-23-1010(代表)

FAX 0279-23-1011

部署:5階東病棟

職名:看護師

氏名:田島 直己